

生コンクリート × SDGs

住商セメント株式会社は住友商事グループの一員として、セメント・生コンの販売を通じて社会に貢献します。

生コンクリートの主原料はセメントです。セメント産業では古くから取り組んできた省エネルギーに始まり、廃棄物や副産物の受け入れおよび有効利用により、「天然資源の節約」「温室効果ガスの削減」「廃棄物の最終処分場の延命」に貢献してきました。近年では、生コンクリートにおいてもサステナブルな社会の実現への取り組みが実施されております。



【生コンクリート × SDGs】 その一例をご紹介します。

H-BA コンクリート

(株)長谷工コーポレーションが開発 (特許取得済み) した環境配慮型コンクリート。

| | | |
|----|--------------------|--|
| 特徴 | 1. 強度・耐久性 | 従来のコンクリートと同等の強度と耐久性を確保。 |
| | 2. 大きな温室効果ガスの削減が可能 | 建築物への幅広い使用により、建築物全体で大きな温室効果ガスの削減が可能。 |
| | 3. 製造・施工 | 従来のコンクリートと同様な材料・設備での製造が可能。 |
| | 4. 認定取得 | 建設材料として、建設材料技術性能証明 ((財) 日本建築総合試験所認定) 取得。H-BA を使用した建設物として、特別評価方法認定 (国土交通大臣認定) 取得。 |

PRESS RELEASE

2022年11月22日

長谷工の環境配慮型コンクリート、分譲マンション初の全面採用 サプライチェーン全体での温室効果ガス(CO₂)排出量削減に向け採用促進

株式会社長谷工コーポレーション(本社:東京都港区、代表取締役社長:池上 一夫)は、株式会社長谷工不動産(本社:東京都港区、代表取締役社長:天野 里司)が手掛ける分譲マンションプロジェクト「(仮称)大田区上池台5丁目計画 新築工事」(以下、「上池台プロジェクト」)において、住宅性能表示を用いる分譲マンションとして初めて、独自開発した環境配慮型コンクリート「H-BA コンクリート」(特許取得済)を建物の地上部分に全面採用いたします。上池台プロジェクトでは、使用するコンクリート約2,300m³をH-BA コンクリートとすることで、約117t(約8,400本のスギが1年間に吸収する量に相当)の温室効果ガス(CO₂)排出量の削減効果を見込んでおります。

H-BA コンクリートは、普通ポルトランドセメントと高炉セメントB種を併用して製造することで、従来の普通コンクリートに置き換えが可能な高い汎用性があり、かつコンクリート材料に由来する温室効果ガス(CO₂)排出量を約20%削減する環境配慮型コンクリートです。

これまで、建築物として「ルネ横浜戸塚」(神奈川県横浜市戸塚区、総戸数439戸)の回廊床への採用や、学生向け賃貸マンション「学園東町プロジェクト」(兵庫県神戸市西区、総戸数120戸)での全面採用など実績を重ねてまいりました。今般、H-BA コンクリートが住宅性能表示において「評価方法基準^{※1}」に従った方法に代えて評価する方法と認められる「特別評価方法認定^{※2}」を国土交通省より取得したことで、初めて、住宅性能表示を行う分譲マンションへも採用できることとなりました。当社では、2021年には約100万m³のコンクリートを使用しており、これをH-BA コンクリートとした場合には約5万t(約360万本のスギが1年間に吸収する量に相当)の温室効果ガス(CO₂)排出量を削減できる試算となります。

長谷工グループでは、2021年に長谷工グループ気候変動対応方針「HASEKO ZERO-Emission^{※3}」を制定し、温室効果ガス(CO₂)排出量削減のため、H-BA コンクリート普及に向け推進しております。東京地区の上池台プロジェクトに続き、関西地区でも自社グループ事業主で住宅性能表示を行う第1号採用案件を予定しており、今後も自社グループ事業の案件ではH-BA コンクリートを採用してまいります。また、他社事業案件におけるH-BA コンクリートの普及を図り、サプライチェーン全体での温室効果ガス(CO₂)排出量削減を推進してまいります。

- ※1 評価方法基準 … 住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)に規定する、日本住宅性能表示基準に従って表示すべき住宅の性能に関する評価方法の基準
- ※2 特別評価方法認定 … 品確法の評価方法基準に従って評価できない新材料・新工法(構造の安全、劣化の軽減、温熱環境、音環境等)について、国土交通大臣が個別に認定する認定方法
- ※3 HASEKO ZERO-Emission … <https://www.haseko.co.jp/he/csr/environment/climate.html>

株長谷工コーポレーションプレスリリース 2022.11.22 長谷工の環境配慮型コンクリート、分譲マンション初の全面採用 サプライチェーン全体での温室効果ガス(CO₂)排出量削減に向け採用促進

PRESS RELEASE

2022年11月25日

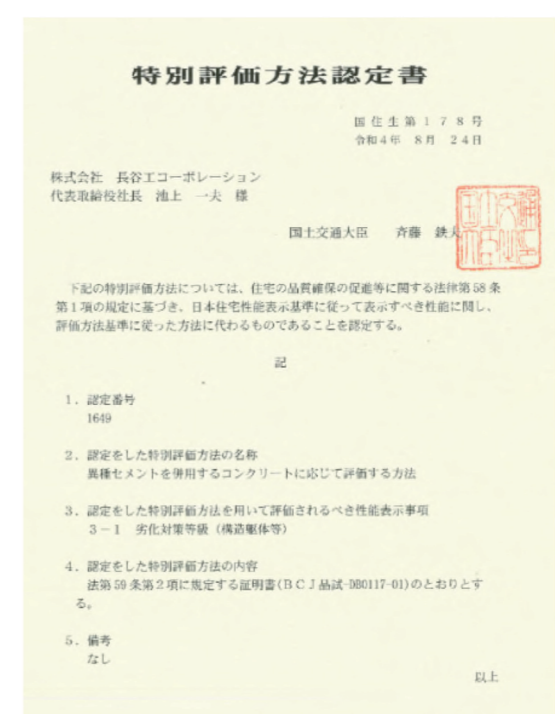
長谷工オリジナルの環境配慮型コンクリート「H-BA コンクリート」 国土交通省の住宅性能表示「特別評価方法認定」を取得

株式会社長谷工コーポレーション(本社:東京都港区、代表取締役社長:池上 一夫)は、独自開発の環境配慮型コンクリートである「H-BA コンクリート」(特許 第6812310号)について、2022年8月24日付で国土交通省より「住宅の品質確保の促進等に関する法律」における住宅性能表示基準に関する「特別評価方法認定(国住生第178号 認定番号1649)」(以下、「本認定」)を取得致しました。本認定の取得により、住宅性能表示を行うマンションへのH-BA コンクリートの採用が可能となりました。

多くのマンションで採用される住宅性能表示では、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に規定する「表示すべき住宅の性能に関する評価方法基準」を満たすことが求められます。しかし、評価方法基準に定められていない方法については、国土交通大臣が個別に認定する「特別評価方法認定^{※1}」により「個別に新たな評価方法基準を設定する」必要がありました。

今般、複数のセメントを併用して製造するコンクリートを利用するという新たな方法について本認定を取得できたことから、住宅性能表示を行うマンションへのH-BA コンクリートの採用が可能となりました。

長谷工グループでは、長谷工グループ気候変動対応方針「HASEKO ZERO-Emission^{※2}」に基づき、温室効果ガス(CO₂)総排出量を指標として削減目標を設定しており、目標の達成に向けた方策としてH-BA コンクリート普及を推進しております。今後、当社が設計施工する案件へH-BA コンクリートを採用することで、削減目標の達成のみならず、サプライチェーン全体での温室効果ガス(CO₂)排出量削減の推進に寄与してまいります。



- ※1 特別評価方法認定 … 住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)の評価方法基準に従って評価できない新材料・新工法(構造の安全、劣化の軽減、温熱環境、音環境等)について、国土交通大臣が個別に認定する認定方法
- ※2 HASEKO ZERO-Emission … <https://www.haseko.co.jp/he/csr/environment/climate.html>

株長谷工コーポレーションプレスリリース 2022.11.25 長谷工オリジナルの環境配慮型コンクリート「H-BA コンクリート」 国土交通省の住宅性能表示「特別評価方法認定」を取得

お問合せ先: 住商セメント(株) 中部支店 052-583-2190 (担当/奥村)